

# 漢字音読名人

《3年》

國	語	算	數	理	科	社	會
圖	工	算	學	體	育	給	食

2学期

名前	
----	--

光村配列

## 「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使用します。裏のページは、友達との聞き合いに使用します。  
一漢字ずつ、読めるようにしていきます。

①まず、表のページで読む練習をします。

・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。  
・線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。

★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏のページでチャレンジします。

・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。

・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。

・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

兩

両手・両足

二つでセットが「**両**」の意味



□左右両方の安全を確認する。



□道路の両側に歩道がある。



□ 千円札を百円玉に両替する。



負

将棋の対局

今日の勝負は負けました



□次こそは相手を負かすぞ。



□ 転ころんで足あしを負ふ傷しょうした。



□ 赤ちゃんを背中に負う。



係

その仕事

ぼくらの係かかりも関係かんけいするね



□黒板消しの係になった。



□ 遊園地ゆうえんちの中なかでは  
係員かかりいんの指示しじに従したがってください。



□これは君きみには関係かんけいのないことだ。



両

両手・両足

二つでセットが「両」の意味



□ 左右両方の安全を確認する。

□ 道路の両側に歩道がある。



□ 千円札を百円玉に両替する。



負

将棋の対局

今日の勝負は負けました



□ 次こそは相手を負けさず。

□ 転んで足を負傷した。



□ 赤ちゃんを背中にもう。



係

その仕事

ぼくらの係も関係するね



□ 黒板消しの係になった。



□ 遊園地の中では係員の指示に従ってください。



□ これは君には関係のないことだ。



## 員

入り口に  
係員が立っている



お店の店員さん。



このバスの定員は

五十人だ。



「全員集合」の合図の  
笛が鳴る。



## 祭

春の祭礼

みこしを担いで  
楽しいお祭り



お祭りの夜、花火が上がる。



文化祭に絵を出品する。



オリンピックは

スポーツの祭典。



## 業

農業・工業・水産業

「業」は仕事という意味です



山火事の消火作業。



林業は、木を育てて

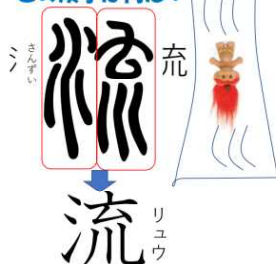
切る仕事。



授業で

漢字の意味を  
習う。

この漢字は何だ？



水に流された子どもの形



## 員

入り口に

係員が立っている



□ お店の店員さん。



□ このバスの定員は

五十人だ。



□ 「全員集合」の合図の

笛が鳴る。



## 祭

春の祭礼

みこしを担いで

楽しいお祭り



□ お祭りの夜、花火が上がる。



□ 文化祭に絵を出品する。



□ オリンピックは

スポーツの祭典。



## 業

農業・工業・水産業

「業」は仕事という意味です



□ 山火事の消火作業。



□ 林業は、木を育てて

切る仕事。

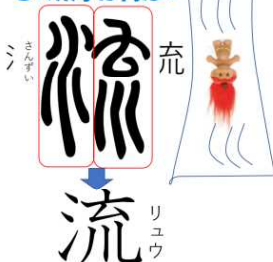


□ 授業で

漢字の意味を

習う。

この漢字は何だ？



## 板

黒板は

昔は黒い板でした



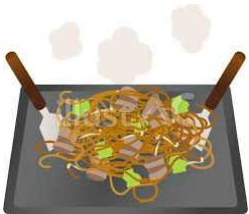
□ 大工さんが木の板を切る。



□ お店の看板が並ぶ商店街。



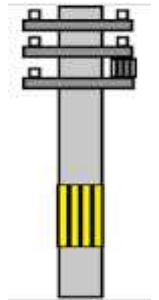
□ 鉄板で焼きそばを作る。



## 柱

円柱の

形をしている電信柱



□ この門の柱は太い。



□ 寒い冬は霜柱ができる。



□ お寺の入口にある石の門柱。



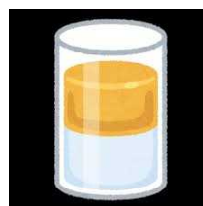
## 油

ガソリンは

石油から作った油です



□ 油は水より軽い。



□ 油絵で花を描く。



□ 原油を採る場所が油田。



102

板

黒板は

昔は黒い板でした



サイン

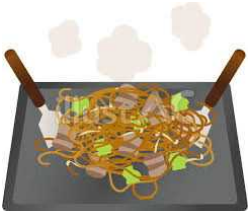
□大工さんが木の板を切る。



□お店の看板が並ぶ商店街。



□鉄板で焼きそばを作る。

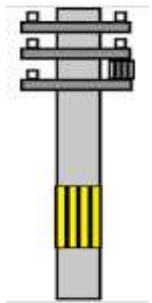


103

柱

円柱の

形をしている電信柱



サイン

□この門の柱は太い。



□寒い冬は霜柱ができる。



□お寺の入口にある石の門柱。



104

油

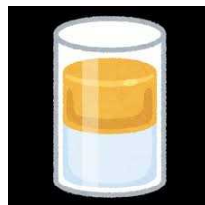
ガソリンは

石油から作った油です



サイン

□油は水より軽い。



□油絵で花を描く。



□原油を採る場所が油田。





## 港

神戸港  
こうべこう外国船が着く港  
がいこくせん  
つ  
みなと
☐ 漁港で栄えた  
ぎょこう  
さか
港町。  
みなとまち
☐ 空港に飛行機が着く。  
くうこう  
ひこうき

☐ 港を開くことを開港という。  
みなと  
ひら  
かいこう


## 薬

薬局で  
やっきょく風邪の薬を買いました  
かぜ  
くすり  
か
☐ 良薬は口に苦し。  
りょうやく  
くち  
にく

☐ 目が赤いので目薬を差す。  
め  
あか  
めぐすり  
さ

☐ 火薬が爆発した。  
かやく  
ばくはつ


## 笛

笛、太鼓  
ふえ  
たいこ鳴らして進む鼓笛隊  
な  
すす  
こてきたい
☐ 野原で口笛を吹く。  
の  
はら  
くちぶえ  
ふ

☐ 笛が鳴ったら集まりましょう。  
ふえ  
な  
あつ

☐ 港から船の汽笛が聞こえる。  
みなと  
ふね  
きてき  
き


105

港

神戸港

外国船が着く港


☐ 漁港で栄えた

港町。


☐ 空港に飛行機が着く。

☐ 港を開くことを開港という。


106

薬

薬局で

風邪の薬を買いました


☐ 良薬は口に苦し。

☐ 目が赤いので目薬をさす。

☐ 火薬が爆発した。


107

笛

笛、太鼓

鳴らして進む鼓笛隊


☐ 野原で口笛を吹く。

☐ 笛が鳴ったら集まりましょう。

☐ 港から船の汽笛が聞こえる。


者

勝った者が勝者  
負けた者は敗者



□ 若者でにぎわう都会。

□ 文を書いた人を筆者という。

□ 障害者のスポーツの祭典  
パラリンピック。



注

熱湯を注ぐ時には  
やけどに注意



□ 新しく入った転校生に  
みんなが注目した。

□ 注射は痛い。

□ 食堂でラーメンを注文する。



悪

悪口を言われて  
気分は最悪だ



□ 弱い者いじめは悪いことだ。

□ 何だか体の調子が悪い。

□ 悪人をやっつける正義の味方。



108

者

勝った者が勝者  
負けた者は敗者



□ 若者でにぎわう都会。



□ 文を書いた人を筆者という。



□ 障害者のスポーツの祭典  
パラリンピック。



109

注

熱湯を注ぐ時には  
やけどに注意



□ 新しく入った転校生に

みんなが注目した。



□ 注射は痛い。



□ 食堂でラーメンを注文する。



110

悪

悪口を言われて  
気分は最悪だ



□ 弱い者いじめは悪いことだ。



□ 何だか体の調子が悪い。



□ 悪人をやっつける正義の味方。



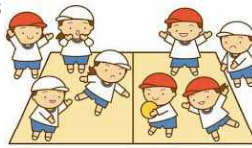


## 勝

この勝負

どっちが勝つか負けるのか

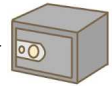

☐ ドッジボールの試合に勝った。

☐ 負けず嫌いで勝ち気な弟。

☐ 負けて悔しい決勝戦。


## 庫

金庫・車庫・倉庫

「庫」は物を入れる建物や場所


☐ 学級文庫の本を読む。

☐ 車を車庫に入れる。

☐ 冷蔵庫から氷を取り出す。


## 波

波が来て

波止場の船が揺れている


☐ 水面にさざ波が立つ。

☐ 電波の届かない山奥。

☐ 病院で脳波の検査を受ける。




111

**勝**

この勝負

どっちが勝つのか負けるのか



サイン

□ドッジボールの試合に勝った。

□負けず嫌いで勝ち気な弟。



□負けて悔しい決勝戦。

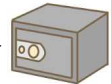


112

**庫**

金庫・車庫・倉庫

「庫」は物を入れる建物や場所



サイン

□学級文庫の本を読む。



□車を車庫に入れる。



□冷蔵庫から氷を取り出す。



113

**波**

波が来て

波止場の船が揺れている



サイン

□水面にさざ波が立つ。



□電波の届かない山奥。



□病院で脳波の検査を受ける。



放

飼い犬を放し飼いに  
して放置しないこと



野鳥を野に放つ。



お昼の放送を聞く。



魚を川に放流する。



勉

勉強が分かってきたぞ  
もっと勉強するぞ



新しい勉強机を  
買ってもらった。



毎日休まずに仕事をする  
勤勉な父。



夜遅くまで勉強にいそしむ姉。



想

未来の世界を  
空想する



読書感想文を書く。



この発想は面白い。



昔の人が想像した火星人。



114

サイン

放

飼<sup>か</sup>い犬<sup>いぬ</sup>を放<sup>はな</sup>し飼<sup>か</sup>い  
にして放<sup>はな</sup>置<sup>ち</sup>しないこと



□野鳥<sup>やちょう</sup>を野<sup>の</sup>に放<sup>はな</sup>つ。



□お昼<sup>ひる</sup>の放<sup>はな</sup>送<sup>そう</sup>を聞<sup>き</sup>く。



□魚<sup>いし</sup>を川<sup>がわ</sup>に放<sup>はな</sup>流<sup>りゅう</sup>する。



115

サイン

勉

勉強<sup>べんきょう</sup>が分<sup>わ</sup>かっけきたぞ  
もっ勉強<sup>べんきょう</sup>するぞ



□新<sup>あたら</sup>しい勉強<sup>べんきょう</sup>机<sup>き</sup>を  
買<sup>か</sup>ってもらった。



□毎<sup>まい</sup>日<sup>にち</sup>休<sup>やす</sup>まずに仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>をする

勤<sup>きん</sup>勉<sup>べん</sup>な父<sup>ちち</sup>。



□夜<sup>よ</sup>遅<sup>おそ</sup>くまで勉<sup>べん</sup>学<sup>がく</sup>にいそしむ姉<sup>あね</sup>。



116

サイン

想

未<sup>み</sup>来<sup>らい</sup>の世<sup>よ</sup>界<sup>かい</sup>を  
空<sup>くう</sup>想<sup>そう</sup>する



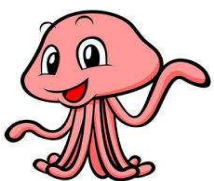
□読<sup>よ</sup>書<sup>しよ</sup>感<sup>かん</sup>想<sup>そう</sup>文<sup>ぶん</sup>を書<sup>か</sup>く。



□この発<sup>はつ</sup>想<sup>そう</sup>は面<sup>めん</sup>白<sup>はく</sup>い。



□昔<sup>むかし</sup>の<sup>ひと</sup>が想<sup>ぞう</sup>像<sup>ざう</sup>した火<sup>か</sup>星<sup>せい</sup>人<sup>じん</sup>。



写

スマホで

写した花の写真



□ ノートに黒板の字を書き写す。



□ 書写の時間は毛筆を使う。



□ 港の船を写生する。



真

真実と  
思っていたら

真っ赤な嘘



□ 舞台の真ん中で歌う。



□ 事件の真相を知る。



□ 遠足の記念写真を注文する。



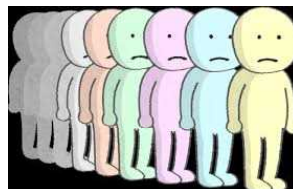
列

行列ができる

人気のラーメン店



□ 一列に整列する。



□ 列車が駅に着く。



□ 弓なりの形をした日本列島。





117

写

スマホで

写した花の写真



□ ノートに黒板の字を書き写す。



□ 書写の時間は毛筆を使う。



□ 港の船を写生する。



118

真

真実と思っていたら真っ赤な嘘□ 舞台の真ん中で歌う。□ 事件の真ん相を知る。□ 遠足の記念写真を注文する。

119

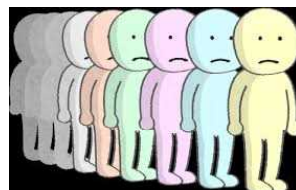
列

行列ができる

人気のラーメン店



□ 一列に整列する。



□ 列車が駅に着く。

□ 弓なりの形をした日本列島。





120

血

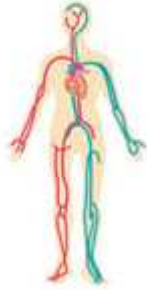
転んで血管が切れ  
足から血が出た



□ 血の気の多い元気者。



□ 血液は体中を回っている。



□ 吸血鬼ドラキュラ。



121

暗

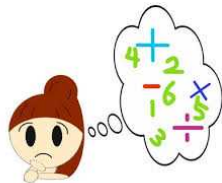
月も無く  
真つ暗闇の暗夜です



□ 暗い夜道を歩くのは苦手だ。



□ 暗算で計算する。



□ 繰り返し読んで暗記する。



122

橋

歩道橋 道路にかかる  
横断用の橋



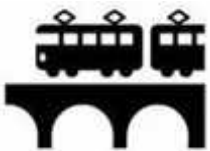
□ 急流に橋をかける。



□ 谷間にかかるつり橋。



□ 電車が鉄橋を渡っていく。



暑

暑い夏

暑中お見舞い申し上げます

暑中お見舞い  
申し上げます

□ 暑い日はプールで泳ぐと

気持ちいい。

□ 暑さ寒さも彼岸まで。



□ 今年の秋は残暑が厳しい。



寒

ああ寒い

強い寒波がやってきた



□ 今朝は雪が降って、とても寒い。

□ 寒い冬、暑い夏の日本。



□ 寒中に行く寒げいこ。



軽

転んでも

身が軽いから軽傷だ



□ ロが軽い人は信用されない。



□ 軽やかな足どりです。



□ 母は軽自動車に乗っている。



## 暑

暑い夏

暑中お見舞い申し上げます

暑中お見舞い  
申し上げます

□暑い日はプールで泳ぐと

気持ちいい。

□暑さ寒さも彼岸まで。

お彼岸

□今年の秋は残暑が厳しい。



## 寒

ああ寒い

強い寒波がやってきた



□今朝は雪が降って、とても寒い。



□寒い冬、暑い夏の日本。



□寒中に行う寒げいこ。



## 軽

転んでも

身が軽いから軽傷だ



□口が軽い人は信用されない。



□軽やかな足どりで踊る。



□母は軽自動車に乗っている。





命

命いのちがけで使命しめいを果はたす

命いのちは何なによりも一いち番大切ばんたいせつなもの。



一いっ生しょう懸命けんめい水泳すいえいの練習れんしゅうをする。



矢やが的まとに命めい中ちゅうする。



第

何なにをするにも安全第あんぜんだい一いち

安全第一

通算第つうさんだい五十六号ホームランの

新記録しんきろく。


第だい六感ろっかんにピンと来きた。



外そとが次第しだいに暗くらくなる。



返

「返金へんきん」は借かりたお金かねを返かえすこと

くり返かえし同おなじことを言いう母はは。



教科書きょうかしょを声こえに出だして読よみ返かえす。



大おおきな声こえで返事へんじをしよう。





126

命

命がけて

使命を果たす



サイン

□命は何よりも一番大切なもの。



□一生懸命水泳の練習をする。



□矢が的に命中する。



127

第

何をするにも

安全第一



安全第一

サイン

□通算第五十六号ホームランの

新記録。



□第六感にピンと来た。



□外が次第に暗くなる。



128

返

「返金」は

借りたお金を返すこと



サイン

□くり返し同じことを言う母。



□教科書を声に出して読み返す。



□大きな声で返事をしよう。



主

食事の時

主に食べるものが「主食」だ



□ 主な出来事を日記に書く。

□ 文には主語と述語がある。



主語 述語  
ぼくは、男の子だ。

□ 持ち主が見つからない

落とし物。

おとしもの



州

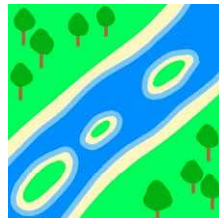
本州と九州つなぐ

関門トンネル



□ 九州・四国・本州・北海道。

□ 川の中に中州がある。



□ 水の働きでできた三角州。



屋

屋上から

向こうの家の屋根が見える



□ 山小屋で過ごす。

□ 夜店の屋台でたこ焼きを買う。



□ 屋内プールで泳ぐ。



129

主

食事の時

主に食べるものが「主食」だ



サイン

□主<sub>しゅ</sub>な出来事を日記に書く。□文<sub>ぶん</sub>には主語と述語がある。主語 述語  
ぼくは、男の子だ。□持<sub>も</sub>ち主<sub>しゅ</sub>が見つからない落<sub>お</sub>とし物<sub>ぶつ</sub>。

おとしもの



130

州

本州と九州つなぐ

関門トンネル



サイン

□九州・四国・本州・北海道。

□川<sub>かわ</sub>の中に中州がある。□水<sub>みづ</sub>の働<sub>はたら</sub>きでできた三角州。

131

屋

屋上から

向こうの家の屋根が見える



サイン

□山小屋で過<sub>す</sub>ごす。□夜店の屋台でたこ焼<sub>や</sub>きを買う。□屋内プールで泳<sub>およ</sub>ぐ。

132

木 根 根 根 根

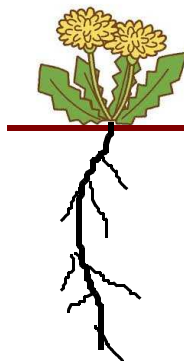
根

大きくて

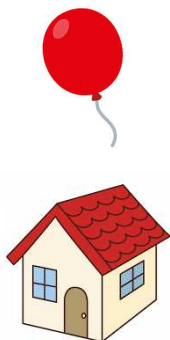
太い根だから「大根」だ



□ たんぽぽの根はとても長い。



□ 屋根の上を飛ぶ風船。



□ 根気よく筆算の練習をする。



133

サ 荷 荷 荷 荷

荷

入荷した荷物を

倉庫に運び込む



□ 重い荷物を運び出す。



□ この仕事は自分には荷が重い。



□ 野菜を市場に出荷する。



134

ハ 守 守 守 守

守

守備に付く

守りの要はキャッチャーだ



□ 決まりは必ず守ること。



□ 家で留守番をする。



□ スリーアウトで攻守交代。





132

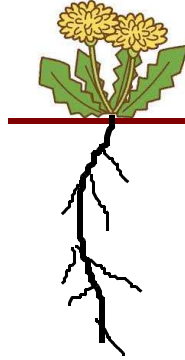
# 根

大きくて

太い根だから「大根」だ



□ たんぽぽの根はとても長い。



□ 屋根の上を飛ぶ風船。



□ 根気よく筆算の練習する。



133

# 荷

入荷した荷物を

倉庫に運び込む



□ 重い荷物を運び出す。



□ この仕事は自分には荷が重い。



□ 野菜を市場に出荷する。



134

# 守

守備に付く

守りの要はキャッチャーだ



□ 決まりは必ず守ること。



□ 家で留守番をする。



□ スリーアウトで攻守交代。





## 役

当番の役目は

きちんと果たしましょう



□この本は勉強の役に立つ。



□市役所の見学に行く。



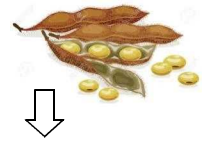
□仕事の役割を決めた。



## 豆

お豆腐は

豆からできているんだよ



□弟と豆まき、今日は節分。



□電池につないで

豆電球をつける。



□納豆は大豆から作る。



## 育

体育は

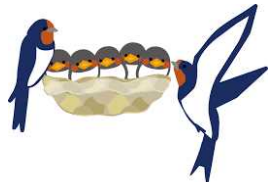
体を育てる時間だよ



□子犬がすくすくと育つ。



□親鳥がひなを育てる。



□子どもを教え、育てることが教育。



135

# 役

当番の役目は

きちんと果たしましょう



サイン

□この本は勉強の役に立つ。



□市役所の見学に行く。



□仕事の役割を決めた。

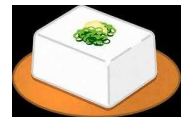
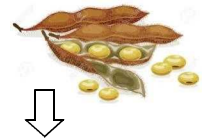


136

# 豆

お豆腐は

豆からできているんだよ



サイン

□弟と豆まき、今日は節分。



□電池につないで

豆電球をつける。



□納豆は大豆から作る。



137

# 育

体育は

体を育てる時間だよ

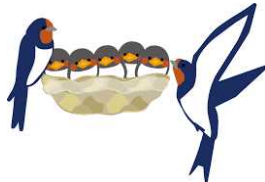


サイン

□子犬がすくすくと育つ。



□親鳥がひなを育てる。



□子どもを教え、育てることが教育。



消

火を消す車が  
消防車



春になって雪が消えた。



手指消毒は

病気の予防だ。



食べ物「消化」、

火を消すのは「消火」。



取

メモを取りながら  
取材する



箱から品物を取り出す。



手からお皿を取り落とす。



珍しい植物を採取する。



期

二期は  
一番長い学期です



秋は読書に良い時期です。



きっと成功すると期待している。



練習の期間を指定する。



138

消

火を消す車が  
消防車



春になって雪が消えた。



手指消毒は  
病気の予防だ。



食べ物は「消化」、



火を消すのは「消火」。



139

取

メモを取りながら  
取材する



箱から品物を取り出す。



手からお皿を取り落とす。



珍しい植物を採取する。



140

期

二期は  
一番長い学期です



秋は読書に良い時期です。



きっと成功すると期待している。



練習の期間を指定する。





141

い 火 畑 畑 畑

畑

はたけ

畑掘り 野菜を

植えるおじいさん



□大豆は畑の肉ともいわれる。



□山の斜面の段々畑。



□美しい花畑が広がっている。



142

糸 糸 糸 終

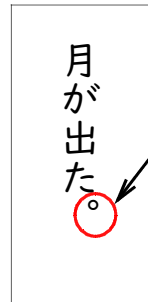
終

終了の

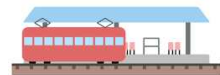
笛が鳴ったよ もう終わり



□文の終わりに句点を打つ。



□電車が終着駅に着く。



□宿題を終えて遊びに行く。



143

フ イ ネ 福 福

福

福は内 鬼は外

笑う門には福来たる



□福の神が幸福を運んでくる。



□兄の卒業を家族で祝福する。



□福引きで一等賞が当たる。



141

畑

畑掘り 野菜を

植えるおじいさん



サイン

□大豆は畑の肉ともいわれる。



□山の斜面の段々畑。



□美しい花畑が広がっている。



142

終

終了の

笛が鳴ったよ もう終わり



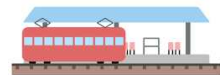
サイン

□文の終わりに句点を打つ。

月が出た。



□電車が終着駅に着く。



□宿題を終えて遊びに行く。



143

福

福は内 鬼は外

笑う門には福来たる



サイン

□福の神が幸福を運んでくる。



□兄の卒業を家族で祝福する。



□福引きで一等賞が当たる。



**急**

あつ 事故だ

急いで呼ぼう  
救急車

□ 急がないと間に合わないよ。



□ 空が暗くなり

急に風が強くなった。



□ 京都駅から

急行列車に乗る。

**起**

さあ起きろ

起床の時間だ  
もう七時

□ この後に何が起こるのだろう。



□ 漢字の起源は中国だ。



□ 起立しておじぎする。

**苦**

苦い薬を

苦労して飲む  
ああ苦しい

□ 多い宿題に苦しめられる。



□ 苦心の末、

やっと作品ができた。



□ 苦手だった水泳が

上手になった。



## 急

あつ事故だ

急いで呼ぼう  
救急車

□ 急がないと間に合わないよ。

□ 空が暗くなり  
急に風が強くなった。

□ 京都駅から

急行列車に乗る。



## 起

さあ起きろ

起床の時間だ  
もう七時

□ この後に何が起こるのだろう。



□ 漢字の起源は中国だ。



□ 起立しておじぎする。



## 苦

苦い薬を

苦勞して飲む  
ああ苦しい

□ 多い宿題に苦しめられる。

□ 苦心の末、  
やっと作品ができた。

□ 苦手だった水泳が

上手になった。





## 待

パーティーの招待状

その日が待ち遠しい



お客様を待ち受ける。



駅で友達と待ち合わせる。



地元の期待に応えた  
水泳選手。



## 談

相談室

先生と面談する母



友達と雑談する。



日米両国の代表が  
対談する。



化け物の出る話が怪談。



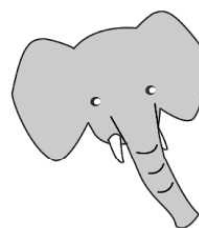
## 鼻

鼻水が止まらず

耳鼻科へ行った



象の鼻は長い。



ボールが当たって鼻血が出た。



鼻炎によく効く薬。



147

サイン

## 待

パーティーの招待状

その日が待ち遠しい



□お客様を待ち受ける。



□駅で友達と待ち合わせる。



□地元の期待に応えた

水泳選手。



148

サイン

## 談

相談室

先生と面談する母



□友達と雑談する。



□日米両国の代表が

対談する。



□化け物の出る話が怪談。



149

サイン

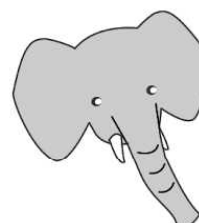
## 鼻

鼻水が止まらず

耳鼻科へ行った



□象の鼻は長い。



□ボールが当たって鼻血が出た。



□鼻炎によく効く薬。



止葉齒菌

齒

永久歯

虫歯むしばになった

歯医者に行こう



□歯には白歯、  
はきゆうし

犬歯けんしなどがある。



□歯を食<sup>く</sup>いしばって我慢<sup>がまん</sup>した。



□時計には歯車が使われている。



央

## ステージの

中央に立ち

歌う歌手



□テーブルの中央に花を飾る。

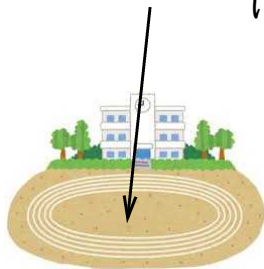


□町の中央に広場がある。



□運動場の中央に

集まる。



## 階自

階段を上って

二階の教室へ



□ビルの最上階の

レストランで食事。しよくじ



□<sup>ふえ</sup>笛でドレミの<sup>おんかい</sup>音階を<sup>な</sup>鳴らす。



□ 大中小の三段階に分ける。



150

歯

永久歯  
えいきゆう

虫歯になった 歯医者に行こう

歯には白歯、  
きゆう

犬歯などがある。

歯を食いしばって我慢した。  
がまん

時計には歯車が使われている。



151

央

ステージの

中央に立ち 歌う歌手

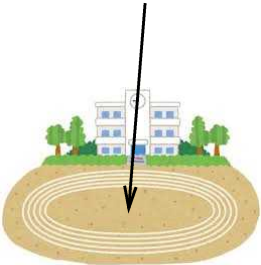
テーブルの中央に花を飾る。  
かざ

町の中央に広場がある。



運動場の中央に

集まる。



152

階

階段を上って  
だん

二階の教室へ

ビルの最上階の  
さい

レストランで食事。



笛でドレミの音階を鳴らす。

大中小の三段階に分ける。  
だん



153

ニ千禾委委

委

委員会  
いいんかい放送委員になりました  
ほうそういいん□ 図書委員の仕事は  
としょいいん しごと本の整理だ。  
ほん せいり□ 運命に身を委ねる。  
うんめい み ゆだ□ 委任とは、  
いにん人に仕事を  
ひと しごと  
まか 任せること。

154

糸糸級級

級

君と僕  
きみ ぼく同じ学級 同級生だ  
おな がっきゅう どうきゅうせい□ そろばんの三級に合格した。  
さんきゅう げうかく□ 学級新聞第三号を発行する。  
がっきゅうしんぶんだいさんごう はつこう□ 四年生に進級する。  
よねんせい しんきゅう

155

日 日 昭

昭

昭和・平成  
しやうわ へいせいその次 令和  
つぎ れいわ□ おじいさんは昭和生まれだ。  
しやうわ う□ 昭和時代は戦争もあった。  
しやうわ じだい せんそう□ 昭は「あきらか」という意味だ。  
しやう いみ

153

委

委員会

放送委員になりました



□図書委員の仕事は  
本の整理だ。



□運命に身を委ねる。



□委任とは、  
人に仕事を  
任せること。



154

級

君と僕

同じ学級 同級生だ



□そろばんの三級に合格した。



□学級新聞第三号を発行する。



□四年生に進級する。



155

昭

昭和・平成

その次 令和



□おじいさんは昭和生まれだ。



□昭和時代は戦争もあった。



□昭は「あきらか」という意味だ。





156

和

美しく平和な日本  
心も和む



サイン

□ 平和な国に住む幸せ。



□ 日本人は

和服も洋服も着る。



□ 日本料理を「和食」という。



157

駅

東京駅から  
新大阪駅まで新幹線に乗った



サイン

□ 駅前の広場で待ち合わせる。



□ 箱根駅伝のテレビ放送。



□ 電車の発車時刻を駅員に聞く。



158

皮

体の表面を  
覆う皮を皮膚という



サイン

□ みかんの皮をむく。



□ 毛皮のコートを着た女の人。



□ いじわるな言い方を皮肉という。



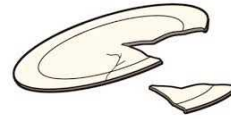


皿

夕食の用意だ  
皿を並べてね



台所でお皿が割れた。



皿洗いは私の仕事。



皿回しの曲芸をする。



短

気が短く  
すぐ怒り出す短気な人



俳句は短い詩。



桜は短命な花だ。



人には長所と短所がある。



息

満員電車  
息苦しくて窒息しそうだ



ため息の出るほどの美しさ。



息をつくひまもない忙しさ。



食後は少し休息しよう。



159

皿

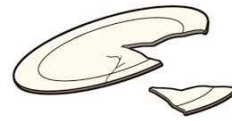
夕食の用意だ

皿を並べてね



サイン

□ 台所でお皿が割れた。



□ 皿洗いは私の仕事。



□ 皿回しの曲芸をする。



160

短

気が短く

すぐ怒り出す短気な人



サイン

□ 俳句は短い詩。



□ 桜は短命な花だ。



□ 人には長所と短所がある。



161

息

満員電車

息苦しくて窒息しそうだ



サイン

□ ため息の出るほどの美しさ。



□ 息をつくひまもない忙しさ。



□ 食後は少し休息しよう。



162

ソメイメイ美

美

美しい声<sup>うつくこえ</sup>を  
美声<sup>びせい</sup>という



美しいバラの花<sup>はな</sup>に見<sup>み</sup>とれる。



君<sup>きみ</sup>は美しい心<sup>こころ</sup>の持<sup>も</sup>ち主<sup>ぬし</sup>だ。



美術館<sup>びじゅつかん</sup>に飾<sup>かざ</sup>られたピカソの絵<sup>え</sup>。



163

自転車転

転

雪道<sup>ゆきみち</sup>で滑<sup>すべ</sup>って転<sup>ころ</sup>んだ  
これを転倒<sup>てんとう</sup>という



高い台<sup>たかだい</sup>から転<sup>ころ</sup>げ落<sup>お</sup>ちた。



三回<sup>さんかい</sup>転<sup>てん</sup>ジャンプの後<sup>あと</sup>、

見事<sup>みごと</sup>に着地<sup>ちやくち</sup>。



自転車<sup>じてんしゃ</sup>でサイクリング。



164

ヤブヤブ病病

病

病<sup>やまい</sup>は気<sup>き</sup>から  
元氣<sup>げんき</sup>に過<sup>す</sup>ぎして病氣<sup>びやうき</sup>知らずだ



くよくよと氣<sup>き</sup>に病<sup>や</sup>む。



無理<sup>むり</sup>をして病氣<sup>びやうき</sup>になる。



重病<sup>じゅうびょう</sup>で病院<sup>びやういん</sup>に入<sup>にゅう</sup>院<sup>いん</sup>した。



162

美

美しい声を

美声という



サイン

□美しいバラの花に見とれる。



□君は美しい心の持ち主だ。



□美術館に飾られたピカソの絵。



163

転

雪道で滑って転んだ

これを転倒という



サイン

□高い台から転げ落ちた。



□三回転ジャンプの後、

見事に着地。



□自転車でサイクリング。



164

病

病は気から

元気に過ごして病気知らずだ



サイン

□くよくよと気に病む。



□無理をして病気になる。



□重病で病院に入院した。





医

風邪をひき

お医者さんに診てもらう



□ 医学の進歩で良い薬ができた。



□ 学校の子どもを診る医者、  
校医さん。



□ 手術をするのは外科医の仕事。



飲

清涼飲料は

飲み過ぎに注意



□ 暑い時には麦茶を飲もう。



□ 何かお飲み物はいかがですか。



□ 飲食店で働くお姉さん。



重

重い岩

三つ重ねて

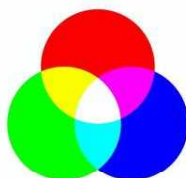
重量一トン



□ 病気が重くなる。



□ 赤青緑、三色の光を  
重ねると白色になる。



□ 貴重品を金庫に入れる。



165

サイン

医

風邪<sup>かぜ</sup>をひきお医者さんに診<sup>み</sup>てもらおう
☐ 医学の進歩で良<sup>よ</sup>い薬<sup>くすり</sup>ができた。

☐ 学校の子<sup>こ</sup>どもを診<sup>み</sup>る医<sup>い</sup>者<sup>しや</sup>、
校医<sup>がうい</sup>さん。

☐ 手術<sup>じゆつ</sup>をするのは外科医<sup>げかりい</sup>の仕事<sup>しごと</sup>。


166

サイン

飲

清涼飲料<sup>せいりやうりやう</sup>は飲<sup>す</sup>み過ぎ<sup>みすぎ</sup>に注意<sup>ちゆうい</sup>
☐ 暑<sup>あつ</sup>い時<sup>とき</sup>には麦茶<sup>むぎちや</sup>を飲<sup>の</sup>もう。

☐ 何<sup>なに</sup>かお飲<sup>の</sup>み物<sup>もの</sup>はいかがですか。

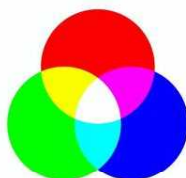
☐ 飲食店<sup>おかしや</sup>で働<sup>はたら</sup>くお姉<sup>あね</sup>さん。


167

サイン

重

重<sup>おも</sup>い岩<sup>い</sup>三<sup>さん</sup>つ重<sup>おも</sup>ねて重<sup>おも</sup>量<sup>りやう</sup>一<sup>いち</sup>トン
☐ 病<sup>びやう</sup>氣<sup>き</sup>が重<sup>おも</sup>くなる。

☐ 赤<sup>あか</sup>青<sup>あお</sup>緑<sup>きぬ</sup>、三<sup>さん</sup>色<sup>しき</sup>の光<sup>ひかり</sup>を  
重<sup>おも</sup>ねると白<sup>しろ</sup>色<sup>しき</sup>になる。

☐ 貴<sup>き</sup>重<sup>じゆう</sup>品<sup>ひん</sup>を金庫<sup>きんこ</sup>に入<sup>い</sup>れる。


## 配

新聞しんぶんを配くばって回まわる  
新聞配達しんぶんはいたつ

宿題しゅくだいの

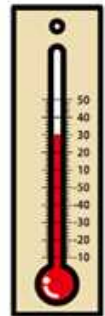
プリントを配くばる。

心配しんぱいで夜よるも眠ねむれない。劇げきの配役はいやくを決きめる。

## 度

温度計おんどけい

温度おんどを調しらべる道具どうぐです

何度なんども練習れんしゅうしてやっとできた。学校がっこうへ行く仕度したくをする。度々たびたび注意ちゅういされる元氣げんきな子こ。

## 幸

幸運こううんが

続つづいて幸しあせ うれしいな

家族かぞくみんなが元氣げんきなことが

一番いちばんの幸しあせだ。

転ころんだが、幸さいわいけがは無なかった。海うみの幸さち、山やまの幸さちの

ごちそうを食たべる。



## 配

新聞を配<sup>たつ</sup>って回る

新聞配達



サイン

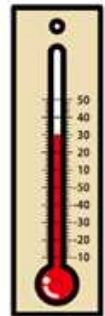
□宿題の

プリントを配<sup>る</sup>る。□心配で夜も眠<sup>ねむ</sup>れない。□劇<sup>げき</sup>の配役を決める。

## 度

温度計

温度を調べる道具です



サイン

□何度も練習してやっとできた。



□学校へ行く仕度をする。



□度々注意される元気な子。



## 幸

幸運<sup>つう</sup>が

続いて幸せ うれしいな



サイン

□家族みんなが元気なことが一番の幸せだ。

□転んだが、幸<sup>な</sup>いけがはなかった。

□海の幸、山の幸の

ごちそうを食<sup>く</sup>べる。



## 流

台風で

流水が流れ着いた



川の水がさらさらと流れる。



異学年交流で仲を深める。



インフルエンザが流行している。



## 族

年末だ

家族みんなで大掃除



水族館で

いろんな魚を見た。



テントで生活する遊牧民族。



平安時代の貴族。



# 流

台風で

流水が流れ着いた



川の水がさらさらと流れる。



異学年交流で仲を深める。



インフルエンザが流行している。



# 族

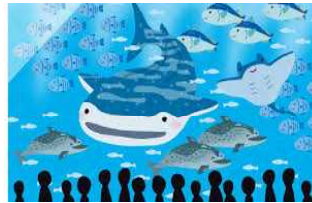
年末だ

家族みんなで大掃除



水族館で

いろんな魚を見た。



テントで生活する游牧民族。



平安時代の貴族。



## 2学期の漢字

たしかめ

20

100	99	98	97	96
祭	員	係	負	両
お祭りの夜、花火が上がる。	「全員集合」の合図の笛が鳴る。	その仕事、ぼくらの係も関係するね。	今日の勝負は負けた。	道路の両側に歩道がある。

たしかめ

21

105	104	103	102	101
港	油	柱	板	業
神戸港は、外国船が着く港だ。	ガソリンは石油から作った油です。	円柱の形をしている電信柱。	黒板は、昔は黒い板だった。	授業で漢字の意味を習う。

たしかめ

22

110	109	108	107	106
悪	注	者	笛	薬
悪口を言われて気分は最悪だ。	熱湯を注ぐ時には、やけどに注意。	負けた者は敗者。	笛が鳴ったら集まりました。	薬局で風邪の薬を買った。

たしかめ

23

115	114	113	112	111
勉	放	波	庫	勝
新しい勉強机を買ってもらった。	お昼の放送を聞く。	水面にさざ波が立つ。	学級文庫の本を読む。	この勝負、どっちが勝つのか負けるのか。

たしかめ

20

100	99	98	97	96
おまつりの よる、はなびが あがる。	「ぜんいん しゅうごう」の あいずの 笛 <small>ふえ</small> が なる。	そのしごと、 ぼくらの かかりも 関 <small>かん</small> けいするね。	きょうの 勝 <small>かつ</small> ぶは まけた。	どうろの りよう側 <small>がわ</small> に ほどうが ある。

たしかめ

21

105	104	103	102	101
神 <small>こう</small> べこうは、 がいこくせんが つく みなとだ。	ガソリンは せきゆから つくった あぶらです。	えんちゅうの かたちを している でん信 <small>しん</small> ばしら。	こくばんは、 むかしは くろい いた だった。	授 <small>じゅ</small> ぎようで かんじの いみを ならう。

たしかめ

22

110	109	108	107	106
わるくちを いわれて きぶんは 最 <small>さい</small> あくだ。	熱湯 <small>ねっとう</small> を そそぐ ときには、 やけどに ちゅうい。	まけた ものは 敗 <small>は</small> しゃ。	ふえが なったら あつまり ましょう。	やつきよくで 風邪 <small>かぜ</small> の くすりを かった。

たしかめ

23

115	114	113	112	111
あたらしい べんきよう 机 <small>つくえ</small> を かって もらった。	おひるの ほうそうを きく。	すいめん に さざな みが たつ。	がっ級 <small>きゅう</small> ぶん この ほんを よむ。	この しょうぶ、 どっちが かつのか まけるのか。



120	119	118	117	116
血	列	真	写	想
転んで血管が切れ、足から血が出た。	行列ができる、人気のラーメン店。	真実とっていたら真つ赤な嘘。	スマホで写した花の写真。	読書感想文を書く。

125	124	123	122	121
軽	寒	暑	橋	暗
母は軽自動車に乗っている。	ああ寒い。強い寒波がやってきた。	暑い夏、暑中お見舞い申し上げます。	道路にかかる横断用の橋が歩道橋。	真つ暗闇の暗夜です。

130	129	128	127	126
州	主	返	第	命
本州と九州をつなぐ関門トンネル。	食事の時、主に食べるものが主食だ。	返金は、借りたお金を返すこと。	何をするにも安全第一だ。	命がけて使命を果たす。

135	134	133	132	131
役	守	荷	根	屋
この本は勉強の役に立つ。	決まりは必ず守ること。	入荷した荷物を倉庫に運び込む。	大きくて太い根だから大根だ。	屋上から向こうの家の屋根が見える。

たしかめ

24

1 2 0	1 1 9	1 1 8	1 1 7	1 1 6
転 <small>ころ</small> んで け <small>かん</small> つ管が きれ、あしから ちが でした。	ぎょうれつが できる、にんきの ラーメンでん。	しん実 <small>じつ</small> と おもっていたら まっかな 嘘 <small>うそ</small> 。	スマホで うつした はなの しゃしん。	どくしょかんそうぶんを かく。

たしかめ

25

1 2 5	1 2 4	1 2 3	1 2 2	1 2 1
ははは けいじどうしやに 乗 <small>の</small> っている。	ああさむい。つよい かんぱが やってきた。	あついなつ、しよちゅう おみ舞 <small>ま</small> い もうしあげます。	ど <small>ど</small> うろに かかる おう断 <small>だん</small> ようの はしが ほどきよう。	ま <small>ま</small> つくら 闇 <small>やみ</small> の あんや です。

たしかめ

26

1 3 0	1 2 9	1 2 8	1 2 7	1 2 6
関 <small>かん</small> もん トンネル。	しよくじの とき、おもに たべる ものが しゅしよくだ。	へんきんは、借 <small>か</small> りた おかねを かえすこと。	なにを するにも あんぜん いいちだ。	いのちが けで しめいを 果 <small>は</small> たす。

たしかめ

27

1 3 5	1 3 4	1 3 3	1 3 2	1 3 1
この ほんは べんきようの やくに たつ。	きまりは 必 <small>かならず</small> ず まもること。	にゆうかした にもつを 倉 <small>そう</small> こには こび込 <small>こ</small> 込む。	おおきくて ふとい ね だから だいこんだ。	おくじようから むこうの いえの やねが みえる。

140	139	138	137	136
期	取	消	育	豆
二学期は一番長い学期です。	メモを取りながら取材する。	火を消す車が消防車。	体育は、体を育てる時間だ。	お豆腐は、豆からできている。

145	144	143	142	141
起	急	福	終	畑
さあ起きろ。起床の時間だ。	空が暗くなり、急に風が強くなった。	福は内鬼は外。	終了の笛が鳴ったよ、もう終わり。	大豆は畑の肉ともいわれる。

150	149	148	147	146
歯	鼻	談	待	苦
永久歯が虫歯になる。	鼻水が止まらず、耳鼻科へ行った。	相談室で先生と面談する。	駅で友達と待ち合わせる。	苦い薬を苦勞して飲む。ああ苦しい。

155	154	153	152	151
昭	級	委	階	央
おじいさんは昭和生まれだ。	四年生に進級する。	図書委員の仕事は本の整理だ。	階段を上って二階の教室へ行く。	運動場の中央に集まる。

たしかめ

28

1 4 0	1 3 9	1 3 8	1 3 7	1 3 6
にがつきはいちばんながいがつきです。	メモをとりながらしゅ材する。	ひをけすくるまがしょう防しゃ。	たいいくは、からだをそだてるじかんだ。	おとう腐は、まめからできている。

たしかめ

29

1 4 5	1 4 4	1 4 3	1 4 2	1 4 1
さあおきろ。き床のじかんだ。	そらがくらくなり、きゆうにかぜがつよくなった。	ふくはうち鬼はそと。	しゅう了のふえがなったよ、もうおわり。	だいずははたけのにくともいわれる。

たしかめ

30

1 5 0	1 4 9	1 4 8	1 4 7	1 4 6
永久しがむしばになる。	はなみずがとまらず、じびかへいった。	そうだんしつでせんせいとめんだんする。	駅でとも達とまちあわせる。	にがいくすりをく労して飲む。ああくるしい。

たしかめ

31

1 5 5	1 5 4	1 5 3	1 5 2	1 5 1
おじいさんはしょう和うまれだ。	よねんせいにしんきゆうする。	としよいいのしごとはほんのせいりだ。	かい段をのぼってにかいのきようしつへいく。	うんどうじょうのちゅうおうにあつまる。



たしかめ

32

160	159	158	157	156
短	皿	皮	駅	和
気が短くすぐ怒り出す短気な人。	夕食の用意だ。お皿を並べてね。	毛皮のコートを着た女の人。	駅前の広場で待ち合わせる。	美しく平和な日本。心も和む。

たしかめ

33

165	164	163	162	161
医	病	転	美	息
医学の進歩で良い薬ができた。	病は気から。元気で病気知らずだ。	三回転ジャンプの後、見事に着地。	美しい声を美声という。	息苦しくて窒息しそうな満員電車。

たしかめ

34

170	169	168	167	166
幸	度	配	重	飲
幸運が続いて幸せた。	温度計は、温度を調べる道具です。	新聞を配って回る新聞配達。	重い岩、三つ重ねて重量一トン。	暑い時には麦茶を飲もう。

たしかめ

35

172	171
族	流
水族館でいろんな魚を見た。	台風で流木が流れ着いた。

# たしかめ

32

1 6 0	1 5 9	1 5 8	1 5 7	1 5 6
きがみじかくすぐ怒りだすたんきなひと。	ゆうしよくのよういだ。おさらを並べてね。	けがわのコートをきたおんなのひと。	えきまえのひろばでまちあわせる。	美しくへいわなにほん。こころもなごむ。

# たしかめ

33

1 6 5	1 6 4	1 6 3	1 6 2	1 6 1
いがくのしんぽで良いくすりができた。	やまいはきから。げんきでびようきしらずだ。	さんかいてんジャンプのあと、みごとにちやくち。	うつくしいこえをびせいという。	いきぐるしくて窓そくしそうな満いんでんしゃ。

# たしかめ

34

1 7 0	1 6 9	1 6 8	1 6 7	1 6 6
こううんが続いてしあわせだ。	おんどけいは、おんどをしらべるどうぐです。	しんぶんをくばってまわるしんぶんはい達。	おもいいわ、みつつかさねてじゅう量いっトン。	あついときにはむぎちやをのもう。

# たしかめ

35

1 7 2	1 7 1
すいぞくかんでいろんなさかなをみた。	たいふうでりゆうぼくがながれついた。

# 3年生で習う漢字

1	詩	31	決	61	送	91	植	121	暗	151	央	181	宮
2	葉	32	事	62	住	92	集	122	橋	152	階	182	院
3	習	33	落	63	具	93	化	123	暑	153	委	183	礼
4	着	34	相	64	拾	94	死	124	寒	154	級	184	等
5	登	35	洋	65	向	95	都	125	軽	155	昭	185	反
6	物	36	服	66	坂	96	両	126	命	156	和	186	君
7	持	37	次	67	悲	97	負	127	第	157	駅	187	乗
8	旅	38	所	68	緑	98	係	128	返	158	皮	188	庭
9	始	39	県	69	開	99	員	129	主	159	皿	189	研
10	進	40	有	70	岸	100	祭	130	州	160	短	190	究
11	動	41	氷	71	路	101	業	131	屋	161	息	191	打
12	深	42	秒	72	感	102	板	132	根	162	美	192	受
13	様	43	農	73	対	103	柱	133	荷	163	転	193	島
14	面	44	仕	74	区	104	油	134	守	164	病	194	追
15	館	45	球	75	陽	105	港	135	役	165	医	195	実
16	号	46	局	76	整	106	薬	136	豆	166	飲	196	神
17	調	47	全	77	部	107	笛	137	育	167	重	197	箱
18	使	48	遊	78	泳	108	者	138	消	168	配	198	湯
19	問	49	表	79	練	109	注	139	取	169	度	199	他
20	意	50	昔	80	助	110	悪	140	期	170	幸	200	身
21	味	51	世	81	童	111	勝	141	畑	171	流		
22	湖	52	界	82	申	112	庫	142	終	172	族		
23	漢	53	速	83	品	113	波	143	福	173	帳		
24	由	54	横	84	商	114	放	144	急	174	代		
25	温	55	指	85	客	115	勉	145	起	175	曲		
26	酒	56	鉄	86	銀	116	想	146	苦	176	投		
27	題	57	安	87	去	117	写	147	待	177	炭		
28	発	58	定	88	倍	118	真	148	談	178	羊		
29	章	59	運	89	筆	119	列	149	鼻	179	宿		
30	平	60	予	90	式	120	血	150	歯	180	丁		